

2.診断群分類別患者数（診療科別患者数上位 5 位）

症例数の多い DPC14 桁分類(DPC コード)を、各診療科別に集計しました。項目は DPC14 桁分類に対する患者数、平均在院日数(自院・全国)、転院率、平均年齢、患者用パスの有無で、各診療科別に上位 5 つを掲載しております。

定 義

最終的な自院の退院を持って 1 カウントとする。転院は、最終的な退院先が「転院」の患者とする。

●指標に示されるそれぞれの用語は以下の通りです。

◇DPC コード：DPC14 桁分類(DPC コード) 診断群分類を表すコードです。医師によって決定される主病名と、一連の入院期間中に行われた医療行為の組み合わせによって分類されますので、同じ主病名でも医療行為が違えば DPC コードも異なります。14 桁の数字は全てに意味をもち、全国共通のコードとして使用されております。

◇名称：主病名についてどのような医療行為を行ったかを表します。

◇患者数：10 未満の数値の場合は、－（ハイフン）で表記。

◇平均在院日数(自院)：入院中の在院日数を症例毎に集計し、その値を症例数で割った平均値です。
※以降の指標でも同様です。

◇平均在院日数(全国)：厚生労働省より公表されている、全国 DPC 対象病院の平成 27 年度における在院日数の平均値です。
※以降の指標でも同様です。

◇転院率 該当する症例数のうち、当院から他病院に移動して入院継続(転院)することとなった患者さんの割合です。
※以降の指標でも同様です。

◇患者用パス 入院時に患者さんにお渡しするクリニカルパスの略
クリニカルパスとは、治療や看護の手順を標準化し、診療の効率化を図る入院診療計画で、検査・治療・手術・ケアなどの内容を時間軸に沿ってスケジュール表(パス表)にまとめたものです(症例によってクリニカルパスは異なります)。患者用パスの「あり」をクリックすると該当のクリニカルパスが表示されます。
※以降の指標でも同様です。

【糖尿病内科】(全 86 症例) ※症例数は一患者さんの一連の入院につき 1 カウントとなります。

DPC コード	名 称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢	患者用パス
			自院	全国			
100071xx99x110	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く)(末梢循環不全なし。)手術なし インスリンあり 85 歳未満	12	27.92	15.63	0%	69.25	なし
100070xx99x110	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く)(末梢循環不全なし)手術なし インスリンあり 定義副傷病あり 85 歳未満	11	17.45	15.87	0%	62.73	なし
100070xx99x100	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く)(末梢循環不全なし)手術なし インスリンあり 定義副傷病なし 85 歳未満	-	-	14.27	-	-	なし
040081xx99x00x	誤嚥性肺炎 手術なし	-	-	20.83	-	-	なし
100070xx99x010	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く)(末梢循環不全なし)手術なし 定義副傷病あり 85 歳未満	-	-	11.90	-	-	なし

解 説

平成 28 年 4 月より、糖尿病の診断群分類はインスリン注射の有無や年齢などで詳細に分かれました。インスリン製剤の自己注射をされている患者さんで、低血糖症状で緊急入院される方がいます。意識障害がある場合は早急な治療(糖の補液)を要することもあります。また、血糖コントロールの為に教育入院や、他疾患で入院し、その後糖尿病の精査目的の為転科する症例も多いです。退院前には管理栄養士より、自宅での食事量や内容についてきめ細かい説明を行っています。

【消化器内科】(全 383 症例) ※症例数は一患者さんの一連の入院につき 1 カウントとなります。

DPC コード	名 称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢	患者用パス
			自院	全国			
060340xx03x00x	胆管(肝内外)結石、胆管炎 内視鏡的乳頭切開術等	22	17.82	10.61	18.18%	79.09	あり
060140xx97x00x	胃十二指腸潰瘍など 手術あり(内視鏡的消化管止血術等)	21	8.67	10.71	0%	67.76	なし
060350xx99x00x	急性膵炎 手術なし	20	18.05	11.50	0%	53.35	なし
150010xxxxx0xx	ウイルス性腸炎 手術なし	18	7.78	5.50	11.11%	49.83	なし
060020xx04x0xx	胃の悪性腫瘍 内視鏡的胃ポリープ・粘膜切除術あり	17	10.65	8.73	0%	77.18	あり

解 説

消化器内科では胆管結石、消化管出血、急性膵炎、ウイルス性腸炎、胃癌等の疾患での入院が多くなっています。特に胆管結石や消化管出血、早期胃癌などでは内視鏡を用いて手術を行うことが多いです。胆管結石では、ERCP という内視鏡検査で石を確認してから胆管の出口を切開し、そこから石を取り出す手術などを行っています。消化管出血では、出血量が多い場合には早急に内視鏡的消化管止血術(クリッピング術)を行い、重度の貧血を伴う時には輸血をすることもあります。早期の癌に対しては、内視鏡的な手術が増えてきています。内視鏡的な治療が行えない場合は、外科へ転科し開腹手術をすることもあります。

【循環器内科】(全 462 症例) ※症例数は一患者さんの一連の入院につき 1 カウントとなります。

DPC コード	名 称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢	患者用パス
			自院	全国			
050130xx99000x	心不全 手術なし	70	20.51	17.71	2.86%	84.11	なし
050050xx99100x	狭心症などのカテーテル検査	62	2.81	3.03	0%	63.87	あり
050050xx02000x	狭心症などのカテーテル治療(経皮的冠動脈ステント留置術等)	45	3.29	4.62	0%	68.47	あり
050170xx03000x	閉塞性動脈硬化症など 手術あり(血管拡張術、血栓除去術等)	37	4.3	5.68	0%	66.49	なし
050130xx9901xx	心不全 手術なし 手術なし 人工呼吸あり	17	22.47	19.53	5.88%	82.18	なし

解 説

循環器内科では心不全で入院する患者さんが最も多くなっております。特に高齢の患者さんが多く重症化しやすいため、在院日数が長くなることもあります。2 番目は心臓のカテーテル検査目的の患者さんが多くなっております。検査の結果、ステント留置術などの治療を必要とした場合でも 3 日間の入院期間で計画的に進めています。また、当院では下肢の閉塞性動脈硬化症などの末梢血管治療にも精力的に取り組んでおり、下肢の血管拡張術を目的に入院される患者さんも年々増加しております。

【呼吸器内科】(全 234 症例) ※症例数は一患者さんの一連の入院につき 1 カウントとなります。

DPC コード	名 称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢	患者用パス
			自院	全国			
040040xx9910xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 処置あり(経気管肺生検法)	25	5.28	3.59	0%	71.8	なし
040120xx99000x	慢性閉塞性肺疾患 手術なし	19	13.26	13.83	5.26%	71.95	なし
040100xxxxx00x	喘息 手術なし	17	11.76	6.32	0%	62.24	なし
0400801499x002	肺炎等(市中肺炎かつ 75 歳以上) 手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし A-DROP スコア 2	13	13.54	15.12	7.69%	83.69	なし
040081xx99x00x	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	-	-	20.83	-	-	なし

解 説

呼吸器内科では肺の悪性腫瘍の有無を検査する為の症例が最も多くなっています。これは気管支鏡を用いて気管支内の観察と、組織や細胞を採取して正確な診断をするために行われます。次に慢性閉塞性肺疾患や喘息となっていますが、これらは長期治療中の方が発作など急性増悪状態となったケースです。続いて急性肺炎や誤嚥性肺炎となっており、平均年齢が 80 歳を超え重症化しやすいため、2 週間以上の入院となる傾向にあります。

【膠原病リウマチ科】(全 161 症例) ※症例数は一患者さんの一連の入院につき 1 カウントとなります。

DPC コード	名 称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢	患者用パス
			自院	全国			
070560xx99x0xx	エリテマトーデス、強皮症などの自己免疫性疾患 手術なし	53	11.75	17.16	1.89%	63.98	なし
070470xx99x0xx	関節リウマチ 手術なし	13	10.54	13.72	0%	71.69	なし
040110xxxxx0xx	間質性肺炎 手術なし	-	-	19.65	-	-	なし
040081xx99x00x	誤嚥性肺炎 手術なし	-	-	20.83	-	-	なし
070470xx99x2xx	関節リウマチ 手術なし リハビリテーションあり	-	-	23.43	-	-	なし

解 説

難病疾患のエリテマトーデスや強皮症の診断目的に入院される方が多いです。患者さんの状態に合わせ、外来または短期入院での点滴治療を行うか判断しています。間質性肺炎では、基礎疾患がある高齢の患者さんは重症化してしまっていることもあります。関節リウマチの治療ではリハビリを行ったり、短期入院でアクテムラなどの生物学的製剤注射を行っています。

【血液内科】(全 106 症例) ※症例数は一患者さんの一連の入院につき 1 カウントとなります。

DPC コード	名 称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢	患者用パス
			自院	全国			
130030xx99x40x	非ホジキンリンパ腫 手術なし 化学療法(リツキシマブ) 定義副傷病なし	16	80.88	16.48	6.25%	71	なし
130040xx99x5xx	多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物 手術なし 化学療法(ボルテゾミブ等)	11	46.18	24.70	0%	72.09	なし
130120xxxxx00x	血液疾患(その他) 手術なし 定義副傷病なし	-	-	10.09	-	-	なし
100380xxxxxxxx	脱水症	-	-	9.16	-	-	なし
130010xx97x2xx	急性白血病 手術あり(輸血) 化学療法	-	-	40.97	-	-	なし

解 説

悪性リンパ腫や多発性骨髄腫などの血液疾患は、以前は稀な病気とされていました。近年検査法の進歩に伴い診断される例が増加しております。比較的高齢者に多く見られており、受診のきっかけも発熱、リンパ節腫脹、繰り返す骨折などの強い症状ではなく、健康診断の二次検査から見つかる例もあります。主な治療は抗癌剤治療となりますが、近年新薬の開発が進み、充分戦える病気となっております。当院は高齢者の化学療法に力を入れております。移植を含めた強力な化学療法適応の若年症例は、福島県立医大血液内科、または太田西ノ内病院血液内科に紹介しています。

【神経内科】(全 111 症例) ※症例数は一患者さんの一連の入院につき 1 カウントとなります。

DPC コード	名 称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢	患者用パス
			自院	全国			
010060x2990401	脳梗塞(発症 3 日目以内、JCS10 未満) 手術なし エダラボンあり 定義副傷病1なし 発症前 Rankin Scale 0、1 又は 2	14	20.76	16.38	21.43%	62.71	なし
010060x2990411	脳梗塞(発症 3 日目以内、JCS10 未満) 手術なし エダラボンあり 定義副傷病1あり 発症前 Rankin Scale 0、1 又は 2	-	-	18.34	-	-	なし
010230xx99x00x	てんかん 手術なし	-	-	6.32	-	-	なし
010040x099x00x	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)(JCS10 未満) 手術なし	-	-	19.10	-	-	なし
010060x2990421	脳梗塞(発症 3 日目以内、JCS10 未満) 手術なし エダラボンあり 定義副傷病2あり 発症前 Rankin Scale 0、1 又は 2	-	-	31.48	-	-	なし

解 説

神経内科では、脳卒中の急性期病変、特に脳梗塞の入院が最も多くなっております。入院後の治療としては、発症 4.5 時間以内であれば、t-PA 投与による急性期血栓溶解療法が有効です。時間的に t-PA の適応がなくても、抗血栓薬と脳保護療法としてエダラボン（活性酸素除去剤）の点滴注射を行い、脳梗塞による脳細胞の障害を軽減させます。また、入院時から積極的にリハビリを実施し、運動機能の維持回復に努めています。脳神経外科の医師と連携をとりながら患者さんの治療を行っています。

【小児科】(全 203 症例) ※症例数は一患者さんの一連の入院につき 1 カウントとなります。

DPC コード	名 称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢	患者用パス
			自院	全国			
040090xxxxxx0x	急性気管支炎、急性細気管支炎など	36	4.28	5.94	0%	1.28	あり
0400801199x00x	肺炎等(1歳以上15歳未満) 手術なし	20	5.6	5.70	0%	4.25	あり
140010x199x00x	早産児、新生児疾患等(出生時体重 2500g 以上) 手術なし	14	8	6.18	0%	0	なし
040070xxxxx0xx	インフルエンザ、ウイルス性肺炎など	13	5.15	6.03	0%	2.46	あり
030240xx99xxxx	扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎 手術なし	12	4.58	5.48	0%	3	あり

解 説

小児科ではRSウイルスやマイコプラズマなどによる気管支炎や、細菌やウイルス性の肺炎などの呼吸器感染症が多くなっています。急性気管支炎での入院は1歳未満の乳児に多く、重症化しやすい傾向があります。

37週未満で生まれた早産児や、出生時または出生後の呼吸状態が不安定な新生児はNICUに入り、全身状態や合併症などを管理していきます。

【外科】(全 435 症例) ※症例数は一患者さんの一連の入院につき 1 カウントとなります。

DPC コード	名 称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢	患者用パス
			自院	全国			
060035xx99x60x	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 手術なし 化学療法(ベバシズマブ)	22	3.05	4.47	0%	82.27	あり
060035xx01000x	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 結腸切除術、悪性腫瘍手術等	20	21.6	15.61	0%	69.1	あり
060330xx02xxxx	胆のう結石など 手術あり(腹腔鏡下胆嚢摘出術等)	17	6.94	6.64	0%	55.41	あり
060040xx99x50x	直腸肛門(直腸S状部から肛門)の悪性腫瘍 手術なし 化学療法(オキサリプラチン)	12	3	4.31	0%	49.42	あり
060020xx02x0xx	胃の悪性腫瘍 胃切除術 悪性腫瘍手術等	12	40	17.27	8.33%	78.58	なし

解 説

外科で多い症例は、結腸癌や直腸癌に対する治療です。手術や化学療法(抗癌剤点滴治療)を行っています。特に化学療法は、短期入院での治療を繰り返し行うことがあるので症例数が多くなっています。また、胆のう結石に対しての腹腔鏡下胆のう摘出術を行う入院も多くあります。外来通院からの予定入院の場合、1週間程度で退院となることが多いですが、胆のう結石に胆嚢炎を伴うなどの緊急入院となった場合は、比較的入院期間が長くなることがあります。この他、消化器内科にて内視鏡的な治療が行えない患者さんに対し、外科的手術を行っています。

【脳神経外科】(全 235 症例) ※症例数は一患者さんの一連の入院につき 1 カウントとなります。

DPC コード	名 称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢	患者用パス
			自院	全国			
160100xx97x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 手術あり(慢性硬膜外血腫穿孔洗浄術等) 定義副傷病なし	24	7.5	9.68	4.17%	71.38	なし
160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 手術なし 定義副傷病なし	19	8.42	7.34	10.52%	47.63	なし
010060x2990401	脳梗塞(発症 3 日目以内、JCS10 未満) 手術なし エダラボンあり 定義副傷病なし 発症前 Rankin Scale 0、1 又は 2	14	19	16.38	21.43%	67	なし
160100xx97x01x	頭蓋・頭蓋内損傷 手術あり(慢性硬膜外血腫穿孔洗浄術等) 定義副傷病あり	11	12.18	23.94	0%	79.64	なし
010230xx99x00x	てんかん 手術なし 定義副傷病なし	10	3.4	6.32	0%	52	なし

解 説

脳神経外科では、頭部の外傷により創部の縫合を行う必要のあった患者さんが最多でした。また、手術を行わずに治療した頭部外傷の患者さんも多くいました。脳梗塞に対しては、早急に頭部 CT、MRI 検査にて梗塞部位や血管病変を特定し、脳保護療法として活性酸素除去剤(エダラボン)を用いて、脳障害を軽減した患者さんが多くなっていました。片麻痺など後遺障害が残っている患者さんは、リハビリ専門の病院へ転院する割合が高くなっていました。頭部の外傷後に慢性硬膜下血腫を生じた患者さんには穿孔洗浄術を行い治療を行いました。

【整形外科】(全 905 症例) ※症例数は一患者さんの一連の入院につき 1 カウントとなります。

DPC コード	名 称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢	患者用パス
			自院	全国			
160800xx01xxxx	股関節大腿近位骨折 手術あり(骨折観血的手術、人工骨頭挿入術等)	95	28.88	27.09	62.10%	80.21	なし
160690xx99xx0x	胸椎、腰椎圧迫骨折等 手術なし	73	15.05	19.94	67.12%	80.74	あり
07040xx01xxxx	股関節骨頭壊死、変形性股関節症など 手術あり(人工関節置換術等)	70	25.67	23.14	0%	63.59	あり
160760xx97xx0x	前腕の骨折 手術あり(骨折観血的手術等)	36	5.25	5.21	0%	53.53	あり
070350xx97xxxx	椎間板ヘルニア 手術あり(椎間板摘出術等)	34	11.29	16.53	0%	55.74	なし

解 説

最も多いのは、転倒などにより大腿骨近位部骨折を起こした症例です。早期に骨折観血的手術（骨接合術）や人工骨頭挿入術を行い、翌日からリハビリを実施し状態が落ち着いてきた後、リハビリ継続目的にて転院される患者さんが62.1%います。また、腰椎圧迫骨折の症例も多く、転院される患者さんが67.1%います。変形性股関節症に対しての人工股関節置換術も多く、筋腱非切離の手術も行っており、早期退院を目指しています。

また、橈骨遠位端骨折等の前腕骨折も多く、早期に骨折観血的手術（プレートやスクリューなどの材料を使い骨接合する手術）を行っています。腰椎椎間板ヘルニアは、椎間板摘出術を行う症例です。積極的なリハビリの実施により、全国の平均在院日数より5.24日も短くなっています。

【形成外科】(全 102 症例) ※症例数は一患者さんの一連の入院につき 1 カウントとなります。

DPC コード	名 称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢	患者用パス
			自院	全国			
080006xx01x0xx	皮膚の悪性腫瘍(黒色腫以外) 手術あり(皮膚悪性腫瘍切除術等)	11	9.09	8.50	0%	83.27	なし
100100xx97x0xx	糖尿病足病変 手術あり	-	-	25.98	-	-	なし
180060xx97xxxx	皮膚腫瘍等 手術あり(皮膚皮下腫瘍摘出術等)	-	-	6.45	-	-	なし
080011xx99xxxx	急性膿皮症 手術なし	-	-	11.73	-	-	なし
020230xx97x0xx	眼瞼下垂 手術あり(眼瞼下垂症手術等)	-	-	3.29	-	-	なし

解 説

皮膚の悪性腫瘍に対しては、切除と同時に皮膚欠損を修復するために植皮や皮弁形成などの再建術を行っております。腫瘍の状態（大きさや種類）によっては、2週間ほど空けて再建術を行うこともあります。眼瞼下垂はまぶたが垂れ下がって前が見えにくくなる病気で、主に加齢によって起こります。手術は局所麻酔にて、30分ほどで終わります。

【産科】(全 696 症例) ※症例数は一患者さんの一連の入院につき 1 カウントとなります。

DPC コード	名称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢	患者用パス
			自院	全国			
120180xx01xxxx	胎児及び胎児付属物の異常 帝王切開術等	170	8.71	9.75	0%	34.14	あり
140010x199x00x	早産児、新生児疾患等(出生時体重 2500g 以上) 手術なし	119	5.16	6.18	0%	0	なし
120200xx99xxxx	妊娠中の糖尿病 手術なし	65	3.26	5.93	0%	33.74	なし
120170xx99x0xx	早産、切迫早産 手術なし	55	18.87	20.41	3.63%	31.07	なし
120260xx01xxxx	分娩の異常 帝王切開術等	53	8.62	9.67	0%	32.43	あり

解 説

産科で 1 番多い症例は、既往帝王切開後妊娠などで帝王切開術をする症例です。分娩停止や胎児状態が良くないと診断された時は緊急に手術を行うこともあり、そういった症例は 5 番目に多くなっています。2 番目に多いのは新生児の入院で、黄疸、哺乳力低下など、比較的軽症な産科管理での入院です。より治療が必要な場合は小児科医と連携して治療を行います。3 番目の妊娠中の糖尿病については、血糖値の検査や食事指導のために入院となる方が多く、ほとんどが 2～3 日で退院となるため入院日数が全国よりも短くなっています。4 番目の切迫早産は、安心して出産していただけるよう慎重に経過をみながら、子宮収縮抑制剤などによる治療を行っています。

【婦人科】(全 842 症例) ※症例数は一患者さんの一連の入院につき 1 カウントとなります。

DPC コード	名称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢	患者用パス
			自院	全国			
120060xx02xxxx	子宮の良性腫瘍 腹腔鏡下腔式子宮全摘術等	180	7.22	6.28	0%	41.26	あり
120070xx02xxxx	卵巣の良性腫瘍 子宮附属器腫瘍摘出術(腹腔鏡)等	77	5.19	6.37	0%	38.72	あり
120140xxxxxxxx	流産	62	2.55	2.43	0%	33.35	あり
120100xx01xx0x	子宮内膜症 子宮附属器腫瘍摘出術(腹腔鏡)等 定義副傷病なし	62	5.48	7.70	0%	35.29	あり
120230xx02xxxx	子宮の非炎症性障害 子宮内膜掻爬術等	34	2	2.49	0%	45.29	あり

解 説

婦人科では、子宮筋腫、卵巣のう腫、チョコレートのう胞(子宮内膜症性卵巣のう胞)の良性疾患に対して、腹腔鏡下手術を行った症例が多くなっています。腹腔鏡手術は、主に臍から腹腔鏡というカメラを挿入し、腹部に数カ所の穴をあけて行う手術で、早期退院、社会復帰が可能です。子宮全摘術に対しては、患者さんの状態に合わせて、女性機能をそこなうことのないよう卵巣の温存も選択できます。卵巣腫瘍摘出術においては、のう腫のみ核出し子宮・卵巣・卵管の状態を改善させる核出術も行っています。また、流産手術や内膜病変・子宮頸部異形成・頸癌の早期診断目的の円錐切除術の症例も多く、2～3 日の短期入院となっています。

【泌尿器科】(全 515 症例) ※症例数は一患者さんの一連の入院につき 1 カウントとなります。

DPC コード	名 称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢	患者用パス
			自院	全国			
11012xx020x0x	腎結石、尿路結石など 手術あり(経尿道的尿路結石除去術等)	95	6.57	5.75	0%	56.03	あり
110070xx02020x	膀胱腫瘍 手術あり(膀胱悪性腫瘍手術(経尿道的手術)等) 化学療法あり	22	11.68	7.64	0%	76.32	あり
110310xx99xx0x	腎臓または尿路の感染症 手術なし	21	10.48	12.34	4.76%	73.19	なし
110200xx04xxxx	前立腺肥大症など 手術あり(経尿道的レーザー前立腺切除術)	16	8.38	7.64	0%	71.75	あり
11012xx97xx0x	腎結石、尿管結石など その他の手術あり(経尿道的尿管ステント留置術等)	15	7.6	7.20	0%	57.6	なし

解 説

1 番目は、腎結石や尿管結石に対し、細径の内視鏡を用いてレーザーで破砕し結石を抽出する手術が多くなっています。同時に両側の結石に対して手術をすることもあります。2 番目は、膀胱癌に対して内視鏡的に悪性部位の切除を行い、手術後すぐに癌の再発抑制のために膀胱内に抗癌剤の薬液投入しています。3 番目は、急性腎盂腎炎や尿路全体の感染症での緊急入院です。重症化すると敗血症になる恐れもありますので、抗生剤や抗菌剤の点滴注射を連日行なっています。

5 番目は、前立腺肥大症に対し、内視鏡下に電気メスを使用して、前立腺組織を小さく切り取る手術です。

【眼科】(全 372 症例) ※症例数は一患者さんの一連の入院につき 1 カウントとなります。

DPC コード	名 称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢	患者用パス
			自院	全国			
020200xx9710xx	黄斑、後極変性 手術あり(硝子体茎頭微鏡下離断術等) 手術・処置1あり(水晶体再建術等)	18	9.11	7.31	0%	72.06	あり
020180xx99x2xx	糖尿病性増殖性網膜症 手術なし 処置あり(アフリバルセプト等)	-	-	2.62	-	-	なし
020250xx97xxxx	結膜の障害 手術あり(翼状片手術等)	-	-	3.30	-	-	なし
020200xx99x4xx	黄斑、後極変性 手術なし 処置あり(アフリバルセプト等)	-	-	2.47	-	-	なし
020220xx97xxx0	緑内障 手術あり(緑内障手術等) 片眼	-	-	8.51	-	-	なし

解 説

最も多いのは、加齢性黄斑変性です。60～70代に多く、黄斑（外部からの光線が角膜・水晶体により屈折し集中する網膜の中心部）が加齢により変性するため、主に変視（歪視）・中心暗点という形で著しく視力低下をきたす疾患です。また、網膜内境界膜上に形成される病的膜の網膜前膜も症例数が多く、これらの疾患には硝子体手術を行っています。また、白内障を併発している患者さんには、白内障手術も同時に行います。

【耳鼻咽喉科】(全 245 症例) ※症例数は一患者さんの一連の入院につき 1 カウントとなります。

DPC コード	名 称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢	患者用パス
			自院	全国			
030350xxxxxxxx	慢性副鼻腔炎(内視鏡鼻・副鼻腔手術等)	51	7.31	7.23	0%	51.65	あり
030230xxxxxxxx	扁桃、アデノイドの慢性疾患(アデノイド切除術等)	51	8.9	8.01	0%	12.31	あり
030400xx99xxxx	めまい、メニエール病 手術なし	29	5.31	5.15	0%	64.48	なし
030240xx99xxxx	扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎等 手術なし	19	4.58	5.48	10.52%	34.79	なし
030270xxxxxxxx	上気道炎	10	4.2	4.84	0%	44.7	なし

解 説

耳鼻咽喉科で最も多い症例は、慢性副鼻腔炎に対しての、内視鏡下鼻・副鼻腔手術を行う患者さんです。副鼻腔内の病変の広がりにより手術の範囲も広がり、入院日数も長くなることもあります。同時にアレルギー性鼻炎や鼻中隔彎曲症も併発している患者さんには、鼻甲介切除術や鼻中隔矯正術も行います。2 番目は慢性扁桃炎や扁桃肥大に対しての手術目的で、小児の患者さんが多いため平均年齢は約 12 歳となっています。併用してアデノイド切除術を施行することが多いです。3 番目のめまい・メニエール病は、救急搬送される方が多く、症状が重症化して緊急入院となる場合がほとんどです。4 番目の扁桃周囲膿瘍は扁桃周囲膿瘍切開術が必要な場合で、緊急入院がほとんどです。